

❀ 新年度を迎えて～2025 年度スタートのご挨拶～

みなさま、こんにちは。病院長の下村です。

いよいよ 2025 年度がスタートしました。私も院長として 4 期目を迎えることとなり、あらためて身の引き締まる思いです。

振り返れば、2024 年度は当院にとって実に充実した一年でした。

新入院患者数は過去最高を記録し、さらに新たに完成した救急外来棟の効果もあって、救急車の受け入れ台数は 6,000 台を超えました。津市内で出動した救急車のうち、実に 38%を当院で受け入れており、地域の救急医療の要としての役割を着実に果たせたと感じております。

また、全身麻酔件数も過去最多となり、目標としていた年間 2,000 件達成まで、あと一步のところまで迫りました。これもひとえに、麻酔科の先生方をはじめとした診療部門の皆さま、手術室スタッフの皆さまの献身的なご努力の賜物です。本当にありがとうございます。

そして今年度、当院ではいよいよ手術支援ロボットの導入が予定されています。外科系医師の高い技術と先進医療の融合により、さらに安全で質の高い手術が提供できるものと確信しています。

周産期医療においても、新たな取り組みが始まります。2025 年度からは鎮痛分娩を本格的に導入し、安心・安全な出産環境の整備を進めてまいります。少子化が進む現代だからこそ、地域に根ざした母子医療のかたちを模索し、必要とされる存在であり続けたいと考えています。

当院の使命は、「地域から真に信頼され、必要とされる急性期病院」であること。そのためには、スタッフひとり一人がやりがいを持ち、いきいきと働ける職場環境の整備と、人材の成長を支える仕組みづくりが不可欠です。

今年度は、初期研修医 10 名を含む 88 名の新たな仲間が加わりました。新しい風を感じながら、彼らがそれぞれの部署で輝き、地域医療を支える担い手として成長してくれることを心から願っています。

2025 年度も、職員一丸となってさらなる飛躍を目指してまいります。どうぞ本年度もよろしくお願いいたします。

